

2018 年度協定校短期プログラム 留学報告書

※記載されている内容は留学時の情報に基づくものです。

学部・学科および学年(留学時)	商学部・3年
性別	女
留学先国・大学名	韓国・梨花女子大学
留学期間	2週間程度

留学準備について

留学前あるいは留学中にどのような準備を行いましたか。

特別な準備はしなかったが、ハングル文字や基本的な文法についての確認をした。

費用について

(留学にかかった経費を教えてください。)

	日本円	現地通貨
航空券(往復)	5万5千円	
保険料(本学指定のもの)	6770円	
住居費		480000 ウォン
食費		300000 ウォン
通信費	3000円	
おこづかい		200000 ウォン
その他(フィールドワーク)		260000 ウォン
その他(教科書)		13000 ウォン

留学をした理由等について

なぜ留学をしようと思ったのか教えてください。

韓国語や韓国の文化を学びたいと思ったから。また英語力も伸ばしたいと思ったから。

留学先の国・地域および留学先大学について

留学先の国・地域および留学先大学を特に志望した理由があれば教えてください。

旅行で梨花大学に行った際にキャンパスの雰囲気気に入ったから。

大学が所在する街の様子を教えてください。(街の雰囲気や治安、気候などについて)

観光客や学生でにぎわっている街であった。坂道が多い印象を受けた。また、日差しがとても強かった。

留学先の国・地域の良い点・悪い点、またそこに留学するにあたって事前に準備したほうがよいことがあれば教えてください。

困ったことが起きた際に助けようとしてくれたように、やさしい人が多い地域だと感じた。

プログラムを振り返って

1日のスケジュールについて教えてください。

9時から12時まで韓国語の授業、13時30分から15時まで韓国の文化や歴史に関する講義、15時以降は日によって異なるフィールドワーク（料理作りや博物館、劇鑑賞など）を行った。また土日は基本は休みだが、ある週の週末には安東という世界遺産の街に泊りがけでフィールドトリップを行った。

授業はいかがでしたか。(授業の行われ方・内容に関する日本との違い、課題・勉強量・時間 等について)

韓国語の授業は丁寧に教えてもらった印象がある。課題は多くなかった。

課外活動はいかがでしたか。特に印象に残ったものがあれば教えてください。

安東のフィールドトリップでは川下りを行い、貴重な経験になった。

日常生活はいかがでしたか。(寮生活、クラブ活動、ボランティア、学生交流、日本から持参するとよいもの等について)

寮生活は非常に快適だった。生活用品は現地でも購入できるので困ったことはなかった。寮の場合はハンガーを持っていくといいと思う。

留学をして得たもの、良かった点・悪かった点などを教えてください。

韓国語の基礎を取得することができた。また、様々な国から来た学生と交流することで改めて言語の重要性を感じ、英語や韓国語をもっと勉強しようと思える良いきっかけになった。

今後プログラムへの参加を希望する学生へのアドバイス

韓国語の授業はレベル別になっているので、まったく韓国語を知らない人から流暢に話せる人まで幅広い人にお勧めできるプログラムだと思う。プログラムに参加している学生もスタッフさんも現地の人も皆がよい人だったので安心して参加してほしい。